

地形図のある学校図書創設プロジェクト

モニタリング参加校 募集要項

「地形図のある学校図書館の創設」実行委員会事務局

(2024 年度 公益財団法人図書館振興財団助成事業 2 年次目)

第1 募集要項の位置付け

この募集要項は、本事業に係るモニタリング参加校の選定に当たり、応募者等に配布するものである。

第2 事業

1 事業名称

「地形図のある学校図書館の創設」

2 事業の目的

2022 年 4 月、新学習指導要領が施行され、全国の高等学校では約 50 年ぶりに地理総合が必修修化となりました。

地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校からさまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解するなど継続的な地理教育が重要となる。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院刊行の地形図（紙地図）の利活用等を推奨しています。

昭和時代以前には、地形図が配備された学校図書館をよく見かけましたが、しかし、一昨年度の国土地理院の調査によると、現在、ほとんどの学校図書館に地形図が備え置かれていない状況が確認されています。また、高等学校の地理教科の非履修のブランクなどにより、子供たちに地形図を教えられる先生も限定されています。

一方、2007 年には、国民が安心して豊かな生活を営むことができる経済社会を実現する上で、地理空間情報の高度活用を推進するため、地理空間情報活用推進基本法が制定されました。同法に基づく地理空間情報活用推進基本計画では、自動運転やインフラ分野の DX を推進させ地理空間情報社会を実現するためには、地図データ等の地理空間情報を理解し活用できる人材育成等の重要性が謳われています。

本事業は、学校図書館を活用し、子供たちが我が国の基本図である「地形図」を気軽に見て、触れて、親しみながら、読み解く力を養うための学習環境を構築、もって未来を担う子供たちが、地理空間情報社会の実現に必要な基礎力を楽しみながら容易に習得でき、同情報社会の早期実現に貢献することを目的としています。

3 事業実施主体

地形図のある学校図書館の創設 実行委員会事務局

実行委員会構成団体：一般社団法人地図協会

一般財団法人日本地図センター

4 事業内容

(1) 概 要

新学習指導要領に則り、地理的事象を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想する力を養うためには、小中学校から、さまざまな地図に触れ親しみ、その役割や有用性について理解することが重要です。文部科学省では、日常生活と結び付いた地理的技能を身に付ける手段として、国土地理院刊行の地形図（紙地図）の読図等を奨励しています。地形図は日本の領土・領海などのほか、私たちの住むまちの、地理・歴史・文化・産業・防災等を学ぶ際にも、極めて重要なツールとなります。さらに、古い地形図と新しい地形図を見比べると、地域の変革を知ることができ、アーカイブとしての価値もあります。

こうしたことから、今般、一般社団法人地図協会と一般財団法人日本地図センター^(※)は実行委員会を立ち上げ、関係機関と連携し、全国の学校図書館にその地域の地形図等を常備するためのプロジェクトを進めます。

そのためのパイロット事業として、2024年4月から、モデルとなっただけの学校図書館に対し、地形図等セット（地域の最新地形図、地域の旧版地形図、撮影年代ごとの地域の空中写真や衛星画像、これらの利活用方法を記した解説冊子等で構成されるプロトタイプ教材）を送付・配備し、利便性に関する意見や感想の収集、児童・生徒の利活用状況に関する効果検証のための調査を行います。

※一般財団法人日本地図センターは、地図利用の普及と地図に関する技術の発展に寄与することを目的として設立されました。一般社団法人地図協会は、政府刊行地図などの販売普及事業及びこれに関連する事業の円滑化を行い、地図情報の発展に寄与することを目的として設立されました。

(2) パイロット事業規模

- ・全国約10校のモデル学校図書館を対象に、モニタリング調査のための実験等を行う（以下「パイロット事業」という。）。

(3) モニタリング調査内容

- ・地形図等セットの提供（当該学校が所在する都府県がほぼ包括される、2万5千分1地形図、5万分1地形図、20万分1地勢図、50万分1地方図、100万分1日本、500万分1日本とその周辺、当該学校が所在する旧版地形図、当該学校が所在する空中写真）

及び利活用方法を記した解説冊子等で構成されるプロトタイプ教材の提供。

- ・訪問調査

パイロット事業に参加いただいた都内近郊の学校に対し、訪問調査を実施させ

ていただき、地形図等セットの構成・内容等の意見聴取を行い、学校図書館の実態に即した内容とするための事前調査に協力をいただく。

- ・学校司書向けの利活用ガイダンスの提供。
- ・モニタリング学校図書館に専門家を派遣し、地形図等セット等の活用方法等について助言・支援をおこなう。
- ・学校司書、司書教諭、教諭を対象とした冬休み学習会(東京)。
- ・実験の効果や改善点等を検証(アンケートへの協力)。

地形図等セットの内容 (神奈川県为学校を例として)



地図等	枚数	備考
1/2.5 万地形図	42 枚	多色刷
1/5 万地形図	15 枚	4 色刷
1/20 万地勢図	4 枚	6 色刷
1/50 万地方図	1 枚	7 色刷
1/100 万	1 枚	9 色刷
1/500 万	1 枚	9 色刷

上記の図の神奈川県境に包括される各縮尺図をバインダー(ポケット)綴じで提供予定

(4) モニタリング参加校応募要項

◆募集校数：北海道・東北・北陸・中国・四国・九州地方にある小・中学校 10 校

(小学校・中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校)

◆募集期間：2024 年 5 月 27 日 (月) ～6 月 7 日 (金)

◆応募条件

1. 日本国内の学校で学校教育法における小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校で図書館を有する事(国公立)
2. 提供する「地形図等セット」を図書館に所蔵頂け、児童・生徒が閲覧可能な状況を構築いただける事
3. 地形図を使った授業*に取り組んでいただける教諭及び学校司書又は司書教諭が配置されている事

なお、地形図を使った授業への取り組みで不明な点が生じた場合のメール等での問い合わせ窓口を実行委員会で設置予定(日本大学ト部教授回答監修)

応募用紙

「地形図のある学校図書館の創設」 実行委員会 2024年									
「地形図のある学校図書館の創設」 モニタリング参加校 応募用紙									
①	(ふりがな)	()							
	学 校 名								
②	郵便番号	〒	(半角でハイフンを入れて入力してください。)						
	住 所								
③	電話番号	(半角でハイフンを入れて入力してください。)							
		※平日の昼間に連絡がとれる連絡先を記載してください。							
④	メールアドレス	@							(半角で入力してください。)
		※P C のドメインメールアドレスをお持ちの場合記載してください。							
⑥	(ふりがな)	()							
	本件担当者								
⑦	諸元情報の提供	学校司書の有無	選んでください						
		司書教諭の有無	選んでください						
		教 諭	選んでください (授業等に取組んでいただける先生)						
		児童・生徒数 :	()	(差し障りがある場合は、記入不用。)					
⑧	図書館への所蔵について (図書館長「校長」の許可について)	配備許可	選んでください						
	⑧ モニタリング調査	協力の可否	選んでください (アンケート調査等への協力)						
⑧	児童・生徒に地形図を見て、触れる体験の可否	体験の可否	選んでください						
	応募理由	1. 応募理由 : 図書館での活用実績・活用方針、授業での活用方針など簡潔にご記入ください							
⑪	zoomによる打ち合わせ参加	2. 今回、提供を考えている地図は当該学校が所在する都道府県が包括される範囲を考えていますが、これまで授業等で使用している範囲外の地形図や野外活動や修学旅行等で活用されている範囲外の地形図がありましたら参考としてお知らせください。							
		(選んでください)	※ 必須ではありません。						

※ お預かりする個人情報は、厳重に管理のうえ、地形図のある学校図書館の創設モニター校選定以外の目的で使用することはありません。